

令和5年11月3日(金)名城大学大学祭 名城大学八事キャンパスでのEプロ活動「くすり教室：実験講座」

共催：特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-DO）・

名城大学薬学部では出前講義の一つとして、地域の方々や学生に「くすり」や「薬物依存」のことを知ってもらう授業や体験実験を特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-DO）の協力の下に行っています。名城大学 Enjoy Learning プロジェクト（通称：Eプロ）の活動として今年度4回目になります。

令和5年11月3日(金)、名城大学大学祭にて「くすり実験教室2023—広げよう！知識の輪—」を下記の内容にて開催しました。当日は児童から大人まで総勢67名が参加し、「くすりの適正使用」「適切な手指消毒・手洗い方法」について学びました。参加者からは「くすりについて興味がわいた」「知っておきたかった内容だらけでした。学校でも教えてほしい」「手洗い頑張ります！」と感想を頂くことができました。便秘や足白癬に用いる「くすり」の適正使用に関するポスターに対しても「わかりやすくまとめられており、薬局にも置いてほしい」など、好評でした。

名城大学八事キャンパスにおける「くすり教室」

日時：令和5年11月3日(金) 10時00分～15時00分

場所：名城大学八事キャンパス 新3号館301教室

内容：

・「体験実験」

体験するコーナーを4テーブル設置し、参加者は各テーブルを回りながら、Eプロの薬学生（5年生7名、4年生12名）から実験目的の説明を聞き、6つの体験実験を行いました。「くすり」の溶けやすさの違いや飲み合わせによる色の変化、手指消毒・手洗いを体験してもらい、驚きの声が上がりました。

<実験項目>

1. コップ1杯の水かぬるま湯で「くすり」をのむのはなぜ？
2. 水がなくても飲める「くすり」があるのを知ってる？
3. 「くすり」を「お茶」で飲むとどうになってしまうの？
4. 「うがいぐすり」でうがいをした後に、すっぱい食品を食べるとどうになってしまうの？
5. オレンジジュースで胃痛を和らげる「くすり」を飲むとどうになってしまうの？
6. 正しい手指消毒・手洗い方法

正しい手指消毒・手洗いの手順の説明後、手洗いチェッカーを用いて、参加者の手指消毒・手洗いが適切にできているかを確認しました。特に手洗いでは、洗い残しのあった参加者が多く、洗い残しの多かった箇所は「爪の付け根」、「爪の間」でした。参加者からは「洗い残しが思った以上に多くて驚いた。」「こんなに時間をかけないときちんと洗えないんですね。」と自身の手洗いの状況を再確認してもらう機会となりました。

制作：Eプロ（名城大学薬学部
病態解析学I：加藤拓真、野田幸裕）
監修：NPO J-DO

